

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

718

内川美化推進等交付金事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	3	魅力ある都市景観の創出
施策	2	都市緑化・都市美化の推進
取組方針	3	都市美化の推進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		市民生活費	
	目		まち美化推進費	
	大事業		まち美化推進事業	
	中事業		内川美化推進等交付金事業	

事業種別	継続			関連個別計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	自治振興課	山下 英二 435-1011
事業実施の根拠法令				関連課		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	内川美化の推進		内川美化を推進するための交付金			
事業内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
		和歌山市内川美化推進会交付金(和歌山市内川美化推進会)内川をきれいにする会交付金(内川をきれいにする会)	和歌山市内川美化推進会交付金(和歌山市内川美化推進会)内川をきれいにする会交付金(内川をきれいにする会)	和歌山市内川美化推進会交付金(和歌山市内川美化推進会)内川をきれいにする会交付金(内川をきれいにする会)	和歌山市内川美化推進会交付金(和歌山市内川美化推進会)内川をきれいにする会交付金(内川をきれいにする会)	和歌山市内川美化推進会交付金(和歌山市内川美化推進会)内川をきれいにする会交付金(内川をきれいにする会)

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	0	1,225	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,577	3,577	3,590	3,669	3,677	3,677	3,677	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,577	3,577	3,590	3,669	3,677	3,677	3,677	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	0	1,225	0
所要人数(人)	正規職員	0.45	0.45	0.45	0.46	0.46	0.46	0.46	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	内川美化推進交付金 1,225千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
内川一斉清掃参加人数	人	目標値	3000	3000	3000	3000	3000
		実績値	1473	1433	1455		
		達成度(%)	49.1%	47.8%	48.5%	0%	%
大門川(伊勢橋)水質環境基準達成度(環境基準: BOD=5mg/L)	%	目標値	5	5	5	5	
		実績値	5.5	5.3	5.3		
		達成度(%)	90.91%	94.3%	94.3%	0%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	内川をきれいにするため、内川5河川沿岸17地区住民及び化学工業協会や染色協会が参加しており、内川の現状把握や、市民の内川美化に対する意識の向上が図れる。
見直し・改善内容	現在、各地区において、自主的に活動が実施されており、この活動を維持継続していくため、当面は現行の仕組みを継続していく